

北海道周辺地域における歴史地震について - アイヌの口碑伝説と歴史記録に基づく検討 -

Historical earthquakes in and around the Hokkaido-special reference to the Ainu oral traditions and historical records-

新里 忠史 [1]; 重野 聖之 [2]; 清水 康博 [3]

Tadafumi Niizato[1]; Kiyoyuki Shigeno[2]; Yasuhiro Takashimizu[3]

[1] 原子力機構; [2] 明治コンサルタント株式会社・北海道支社; [3] 北海道地質研・環境地質

[1] JAEA; [2] Meiji C; [3] Dep. Env. Geol., Geol. Sur. Hokkaido

<http://www.jaea.go.jp>

はじめに

過去の地震活動を把握する手法としては、活断層の活動履歴の調査、津波堆積物などの地震イベント堆積物の空間分布や形成時期の調査、および文献史料を対象とした地震や津波に関する歴史記録の収集などが挙げられる。北海道について見ると、活断層や地震イベント堆積物に関する調査研究は多くある。一方、北海道における18世紀半ば以前の文献史料がほぼ皆無であることから、それにより過去の地震活動などを把握することが困難な状況にある。

そこで本研究では、18世紀半ば以前の北海道において数少ない文献史料の1つであるアイヌの口碑伝説や歴史記録を対象として、地震に関する記録を収集し、それら記録が過去に地震に襲われた可能性を示すものかどうかについて検討を行い、その検討結果に基づき、アイヌ文化期とそれ以前の時期における北海道とその周辺地域での地震活動について考察する。

手法

アイヌの口碑伝説と歴史記録、各地のコタン（集落）で伝えられている地震に関わる儀式や教え、アイヌ語地名を対象として史料の収集を行った。史料収集では、アイヌ語の聞き取りを行った人物が記載した史料を主な対象とした。また、史料の検討は以下の手順で行った。すなわち、地震に関わる内容が記されているアイヌの口碑伝説や記録の収集された地域について、1) 地質学的に地震が生じる地域であるか、2) アイヌ文化期以降の歴史時代においても地震を被っていたか、および3) 歴史時代において観察された地震に伴う自然事象がアイヌの口碑伝説から読み取れるか、などを検討した上で、「過去に地震に襲われた可能性がアイヌの口碑伝説や記録に残されているかどうか」を評価した。

結果

史料収集の結果、地震に関するアイヌの口碑伝説は18篇、儀式と教えは8篇、地名は2箇所であった。また、それらの記録が過去に地震に襲われた可能性を示すものかどうかについて評価した結果、“地震に襲われた可能性がある”と判断された地域は23、“地震に襲われた可能性がない”とされた地域は2、よくわからない地域は3であった。

清水(2005)は、北海道の太平洋沿岸を襲った津波による堆積物の研究成果を参照し、アイヌの口碑伝説と歴史記録から、過去に津波に襲われた可能性のある地域を検討している。その結果と本研究の結果をあわせると、過去に地震もしくはそれに起因するであろう津波に襲われた可能性のある地域は、太平洋沿岸、とりわけ内浦湾沿岸、胆振～日高海岸および釧路海岸に多い。また、内陸では沙流川中流域、十勝川中流域、およびサロマ湖東側と屈斜路湖周辺に多い。この地域性は、被害地震の震央分布(宇佐美, 2003)に類似している。

考察

アイヌ文化期とそれ以前の時期において地震による被害を被ったと推測される地域が、現在の地震被害域とほぼ同様であることは、少なくとも口碑伝説等が形作られたであろうアイヌの人々の“伝統的な文化”の期間とほぼ同期間の将来においても、現在の地震活動の特徴が継続するであろう事を示唆する。ここで、アイヌの人々の“伝統的な文化”の期間を右代(1991)や山北(2000)に従い12・13～19世紀末までとすると、現在の地震活動の特徴が継続するであろう期間は将来約700年間となる。但し、同期間と同じかそれよりも長周期の地震活動や地震の発生間隔などについては、活断層や地震イベント堆積物などを対象とした調査方法に頼るしかないであろう。

今後は、アイヌの口碑伝説や儀式・教えなどの言い伝えに加えて、蝦夷三官寺等に保管されている日鑑記などを対象とした文献調査を行うとともに、地震イベント堆積物などを対象とした調査結果を含めて、過去の地震発生域の時空間分布および地震の発生周期などを総合的に検討することが必要である。

引用文献

清水, 2005, 歴史地震, 20, 183-199.; 宇佐美, 2003, 最新版日本地震被害総覧, 東京大学出版会, 605 pp.; 右代, 1991, 北海道開拓記念館年報, 19, 23-52.; 山北, 2000, アイヌ民族の歴史と文化, 山川出版社, 97-112.